

次期子ども・子育て支援計画（令和7年度～令和11年度）  
策定に向けた主題の検討について

1 背景

次期計画に向けては、少子化や人口減少の中、児童虐待や貧困、不登校など、子どもを取り巻く状況は深刻さを増しており、こうした背景から、国は「こどもまんなか」の視点に立って政策を進めるため、令和5年4月より、内閣府にこども家庭庁を創設します。

大田区においても、国のこども政策の理念や方向性に沿って、東京都の動向も踏まえ、地域の実情に応じた施策や事業を実施する必要があります。区では、令和7年度～令和11年度を計画期間とする次期子ども・子育て支援計画の見直しは、区民の関心も高く、特に重要な取組であると認識しております。

2 目的

子ども・子育て支援計画は法定計画であり、国の策定指針に沿って定める事項と併せて、区の課題解決のために計画を策定することが重要と考えております。

今後示される予定である国の策定指針等との調整が必要ですが、何よりも区の課題解決を図ることが重要であり、その主題を特定するため、検討を行います。

3 検討の素材

検討にあたって、庁内において区のこども政策関連で次期計画期間において課題を解決し、または対策を推進すべき主題を抽出しました。

4 次期計画策定に向けた今後の進め方（案）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次期子ども・子育て支援計画で取り組むべき主題の検討</li> <li>・優先的に取り組むべき主題の選定</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査の設問設計</li> <li>・実態調査の実施及び結果報告</li> <li>・国の策定方針とのすり合わせ</li> </ul>
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実態調査の結果を踏まえた次期子ども・子育て支援計画の策定</li> </ul>

5 その他

検討いただく主題は、次期計画の「基本目標」や「個別目標」の要素になるものと認識しております。

また、令和5年度に実施を予定している次期子ども・子育て支援計画策定に向けた実態調査にも反映する予定です。